

✿ マタニティ白衣のレンタルを行っています ✿

九州大学病院きらめきプロジェクトでは、2014年4月より主に本学病院地区の教職員・学生を対象にマタニティ白衣のレンタルを行っています。

この度、これまで使用しているマタニティ白衣に加え、長崎大学病院メディカル・ワークライフセンターがプロデュースした白衣を新たに導入しました。

いずれの白衣もダブル仕立てのコートタイプで、お腹の膨らみが目立ちにくくなっています。また、腹囲の変化にあわせてウエストを調整できますので、妊娠初期から臨月まで対応可能です。

サイズは、Sサイズ、Mサイズを用意しています。

レンタルを希望される場合は、きらめきプロジェクトHPからお申し込みください。



きらめきプロジェクトHP (右上QRコードから)  
> ライフサポート > マタニティ白衣

✿ 令和6年度スタッフ発表会を開催します ✿

日時：令和7年3月5日(水)～7日(金)

会場：病院外来診療棟 2階ギャラリー

きらめきプロジェクト所属のドクターたちが各々の紹介や1年間の活動をまとめたポスターを会場内に掲示します。期間中はどなたでも立ち寄りいただけます。

ドクターたちの奮闘ぶりを是非ご覧ください。



九州大学病院 臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/



年頭のご挨拶を申し上げます。

明けましておめでとうございます。

きらめきプロジェクト副プログラム責任者（歯科担当）をさせていただいております顔面口腔外科の大山順子です。

私自身は独身で、子育てをしながら頑張っている先生方のご苦労は体験しておらず、私が副プログラム責任者をして良いのだらうかと思いつつも、自分ができなかった事を若い先生方に託して繋いでいただくために何をすべきかを自問自答する毎日です。

私が口腔外科に入局した時代は昨年の流行語大賞にもなった「ふてほど」が当たり前の時代で、「嫁に行くのが女性の幸せなのにまだこんな所で何をしているのか」など他の医局の男性の先生方からと言われるような、それ以上の書面には書けないようなことも平気で言われるような時代で、結婚、妊娠して働き続けることは考えられませんでしたので、結婚すると女性医局員はその年度末には退局というのが常でした。少しずつ女性の後輩が増えた頃、男性の若手医局員が家族のことで休みやすい環境を作るように、「お互い様だから」という言葉をかけて独身の女性医局員が皆で率先して代役を引き受けよう、今後に繋がるからと動いていた時代もありました。そのうちに家族のことで仕事を調整して休むという環境で仕事をしてきた若手男性医局員は中堅になり、彼らやそれに続く若手の男性医局員が増えたことに加えて時代の流れもあり、女性が働くことに理解がある医局員が多くなり、さらに当たり前になり、医局員の男女比もほぼ1:1となり、医局内にも結婚、妊娠を経験する女性医局員も増えました。もちろん、医局員の理解があっても時間的な制約もたくさんありますので、ワークライフバランスを考えることができるこのきらめきプロジェクトには発足当初からたくさんの後輩が所属させていただいてきました。キャリアを繋げたり再開したりする機会をいただき本当に感謝しております。そして今ではきらめきプロジェクトに所属させていただいて家庭に仕事に奮闘しながら数年を経てOGとなった後輩がその後もそれぞれの道で頑張っている姿や、立派に成長したお子さんの姿を拝見できるようになり、頼もしく思っております。

それぞれの想いや環境などに合わせて働き方を考えることができるこのきらめきプロジェクトに感謝し、自分のキャリア形成を行いながらも自我を通すばかりではなく、周囲に心を配り、周囲に感謝する気持ちも忘れないで頑張ることで他の医局員の理解も広げ、刺激にもなっていたOGのことを若い医局員に伝えると共に、プロジェクトメンバーのサポートを行いながら残り数年の副プログラム責任者の時間を全うしたいと思っております。

末筆になりますが、今年が皆様にとって実りの多い1年になりますようお願い申し上げます。



## 日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します



卒後19年目の心療内科医です。

私は5年目から九州大学心療内科に入局し、以後大学病院の病棟や関連病院で、内科医・心療内科医として勤務してきました。二人の子供（現在小学生）を出産後は大学院に進学し、臨床研究を行いました。昨年度、14年ぶりに医員として大学に復帰しましたが、医員はやりがいは大きいものの、病棟業務の仕事量は多く夜間のカンファレンスもありました。朝夕の子育ては慌ただしいものとなり、子供の心理面に影響が出てきたため、まず子供を優先するべく仕事の形を見直しました。大学での研究は続けたい気持ちはありましたが医局に非常勤の枠はなく、大学での勤務をあきらめかけていたときに、きらめきプロジェクトの秋採用の存在を知りました。こちらの切羽詰まった状況を理解し受け入れてもらったことで精神的にとても楽になりましたし、非常勤の学術研究員として週2回心療内科の外来で臨床研究を続けることができました。非常勤にセーブしたことで不安はありましたが、きらめきプロジェクトの存在が学内に浸透していたことで周りの先生方もニュートラルに捉えてくれ、困難を感じることはありませんでした。

本年4月に伊都診療所所長・准教授職に就くこととなり、フルタイムで子育てと両立できる時間帯で働くことが可能となりました。本プロジェクトで臨床・研究での経験をつなげる勤務を継続した意義はとて大きかったと感じています。



私は鹿児島大学歯学部を卒業後に愛知県の病院歯科等で口腔外科の研修を3年間経験し、その後結婚を機に転居、鹿児島県の小児歯科開業医で3年間勤務し出産のため離職しました。それから4年経過して子供が幼稚園へ入園し、夫の転勤により福岡へ転居した頃にきらめきプロジェクトを知りました。復職への希望や不安を抱えながらプロジェクトの説明会に参加したのが去年の冬です。これまでに九大病院どころか福岡とも全く縁のなかった私の応募に親身に対応してくださった先生方や事務局の方のお力添えのおかげで今年の春から顔面口腔外科で勤務させていただいています。過去に口腔外科を継続して学びたいと思っても転居した先で叶わずにいたので、まさか卒後10年経った今になって口腔外科を学ぶ機会に恵まれるとは夢にも思っていませんでした。4月から顔面口腔外科に勤務させていただいて、週に2日ですが母親ではなく一人の医療人として患者さんの助けになれることに喜びを感じます。技術や知識はまだですが、ありがとうございます声をかけていただけることもあり、その度により研鑽しより良い歯科医療を提供していきたいと改めて思います。今年は外来の初診対応や小手術などを経験させていただきました。今は診療に時間もかかりひとりではできないことばかりですが、口腔外科の先生方から多くを学び、できることを増やしていきたいです。来年度は子供が小学校に入学します。まだ手のかかる子供のことを母親としてなるべくそばで見守っていきたいと思っています。そしてどんどん成長していく子供に負けないうらい自分も成長できるよう頑張りたいと思います。

